

SSSV成果報告

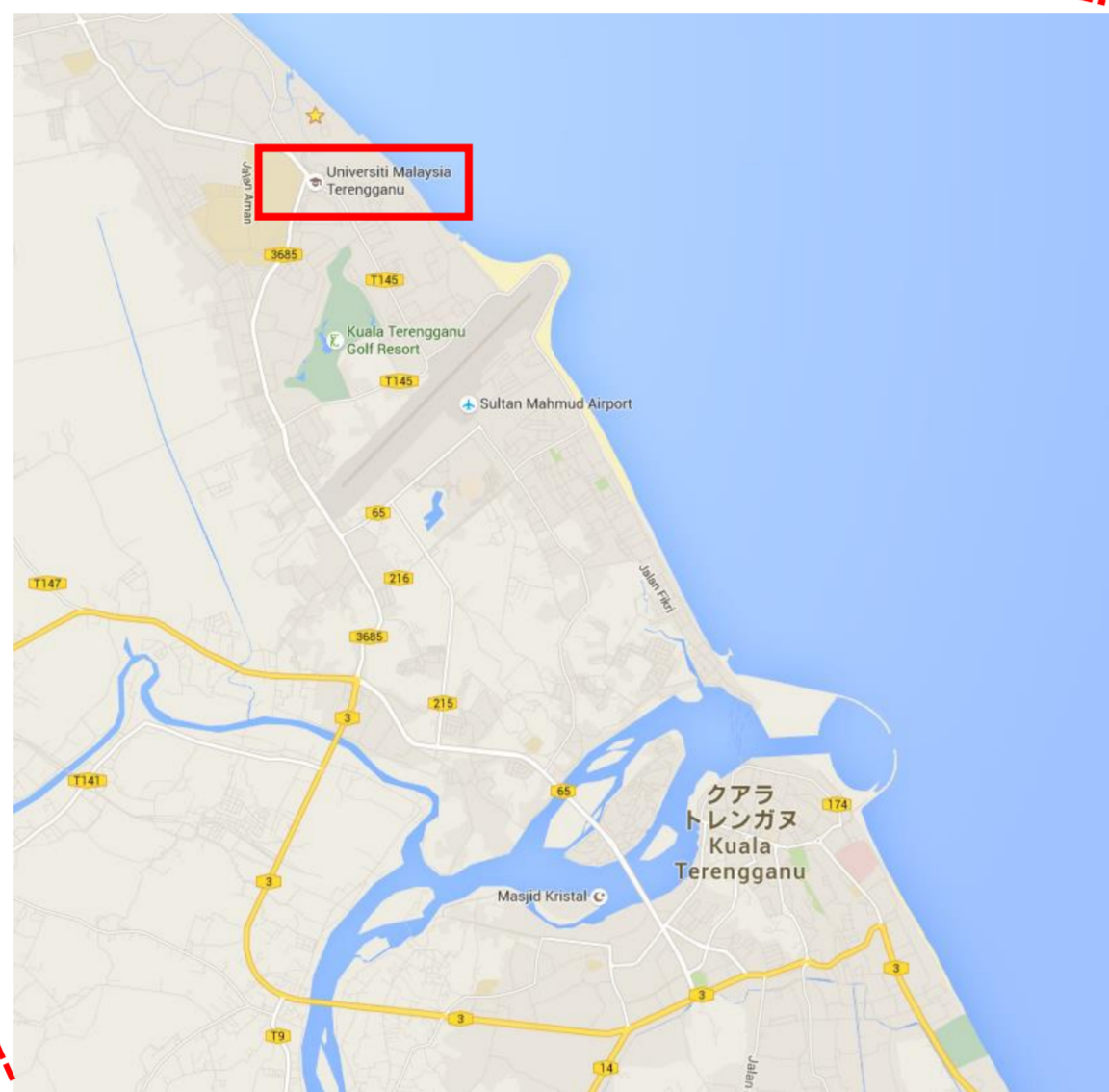
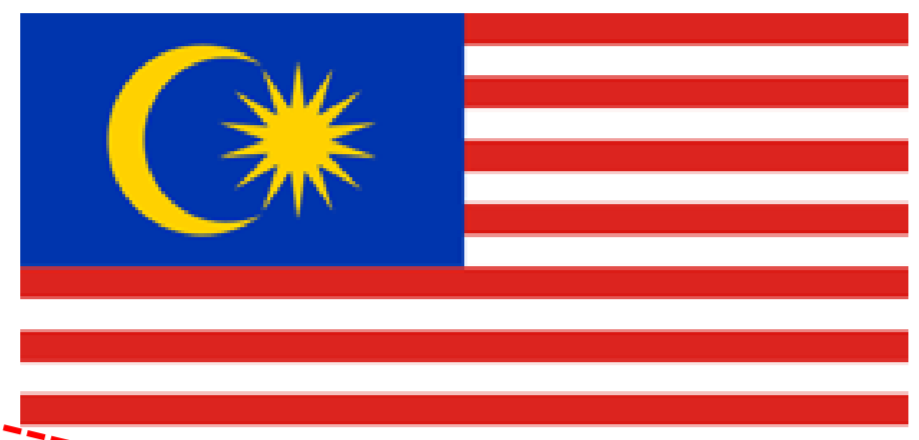
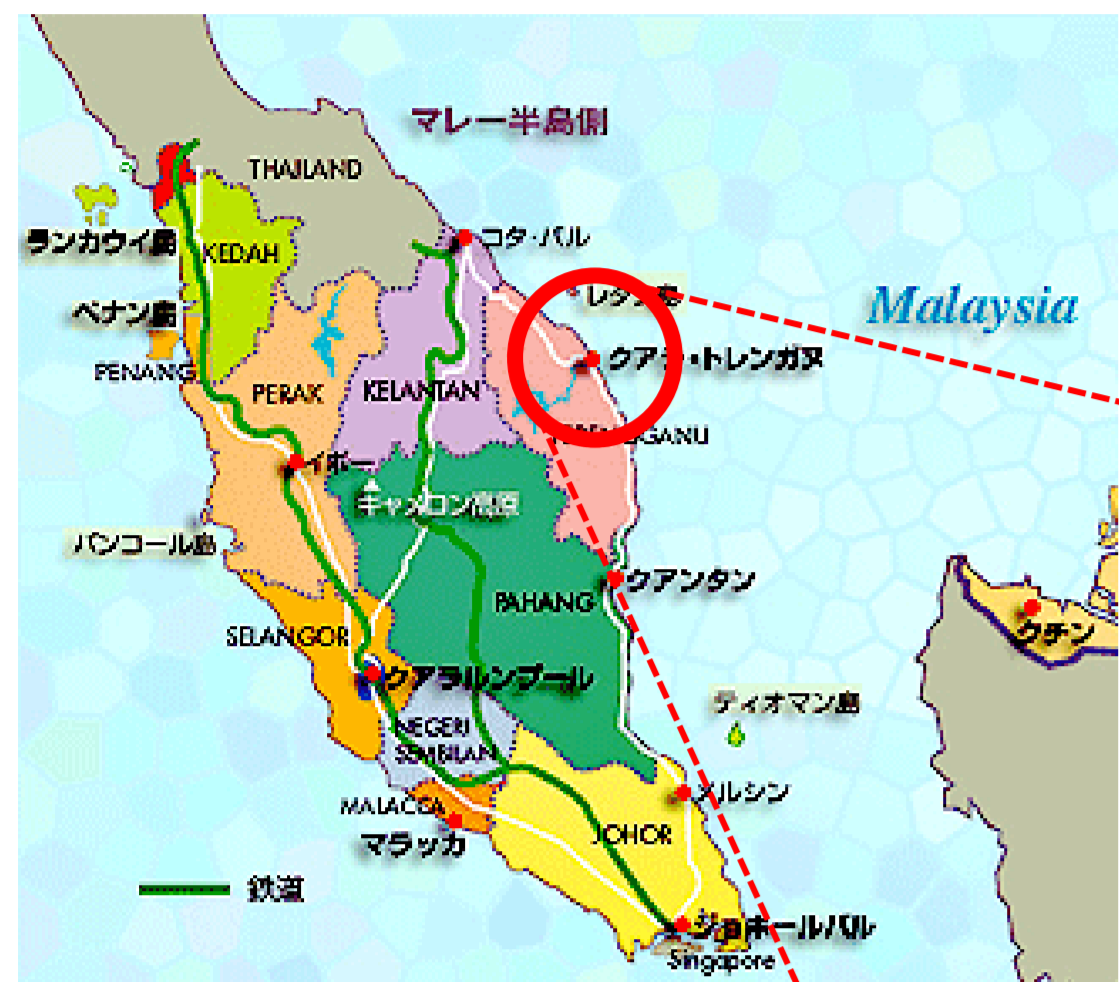
研究室交流(三浦・臼杵研究室)

マレーシア大学トレンガヌ校

磯川紗希・近藤紘史・加藤滉一郎・柴山透・三上諒・八木計充

交流大学の紹介

◆ マレーシア大学トレンガヌ校



◆ 担当教諭



数学科 准教授

• R.U. Gobithaasan

➢ 専門分野

- 数値解析
- 幾何デザイン(CAGD)



研究室交流の様子



ウェルカムパーティ



クアラ・トレンガヌ市場



ボートハウス



ハーブガーデン



現地料理店

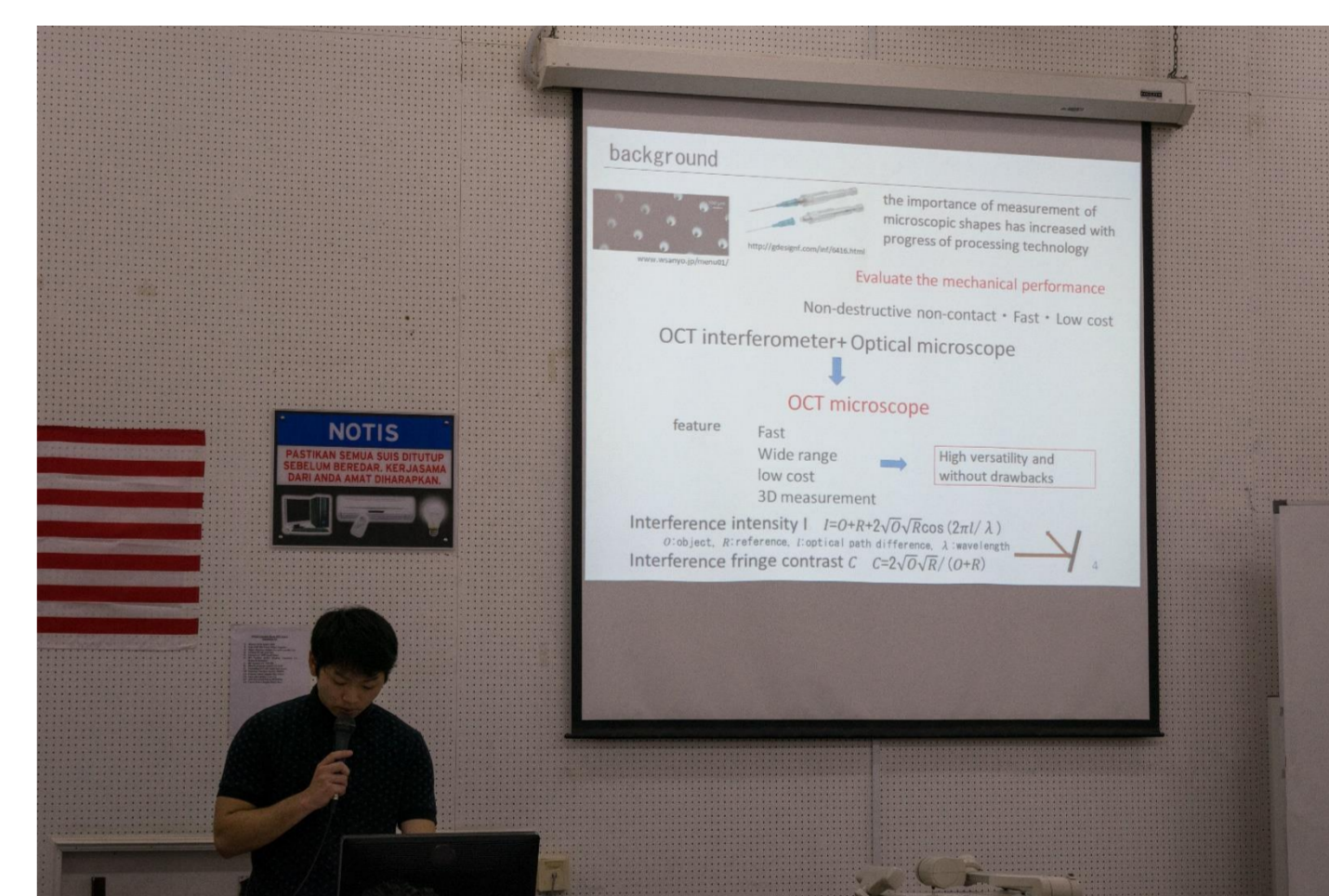
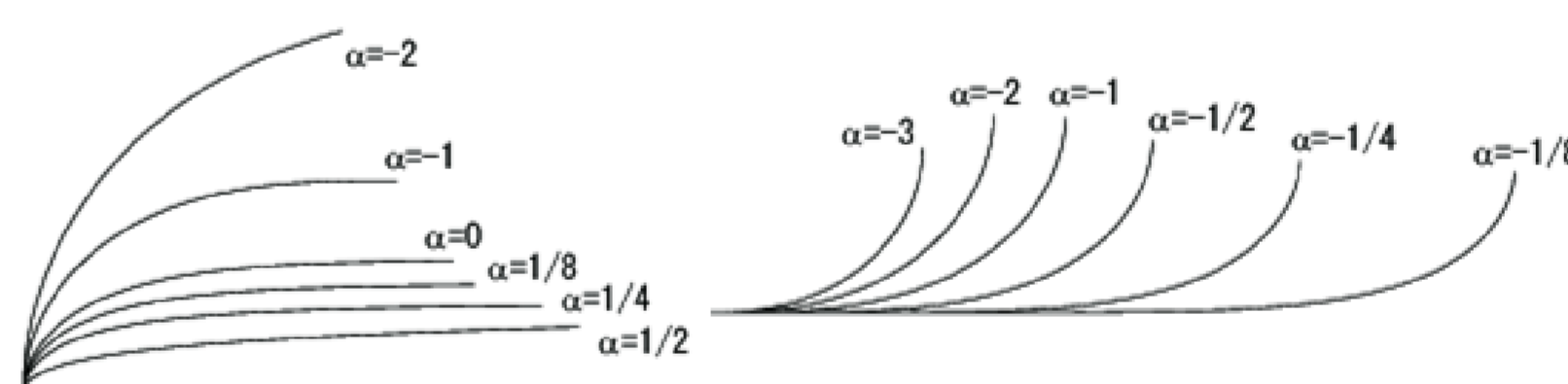
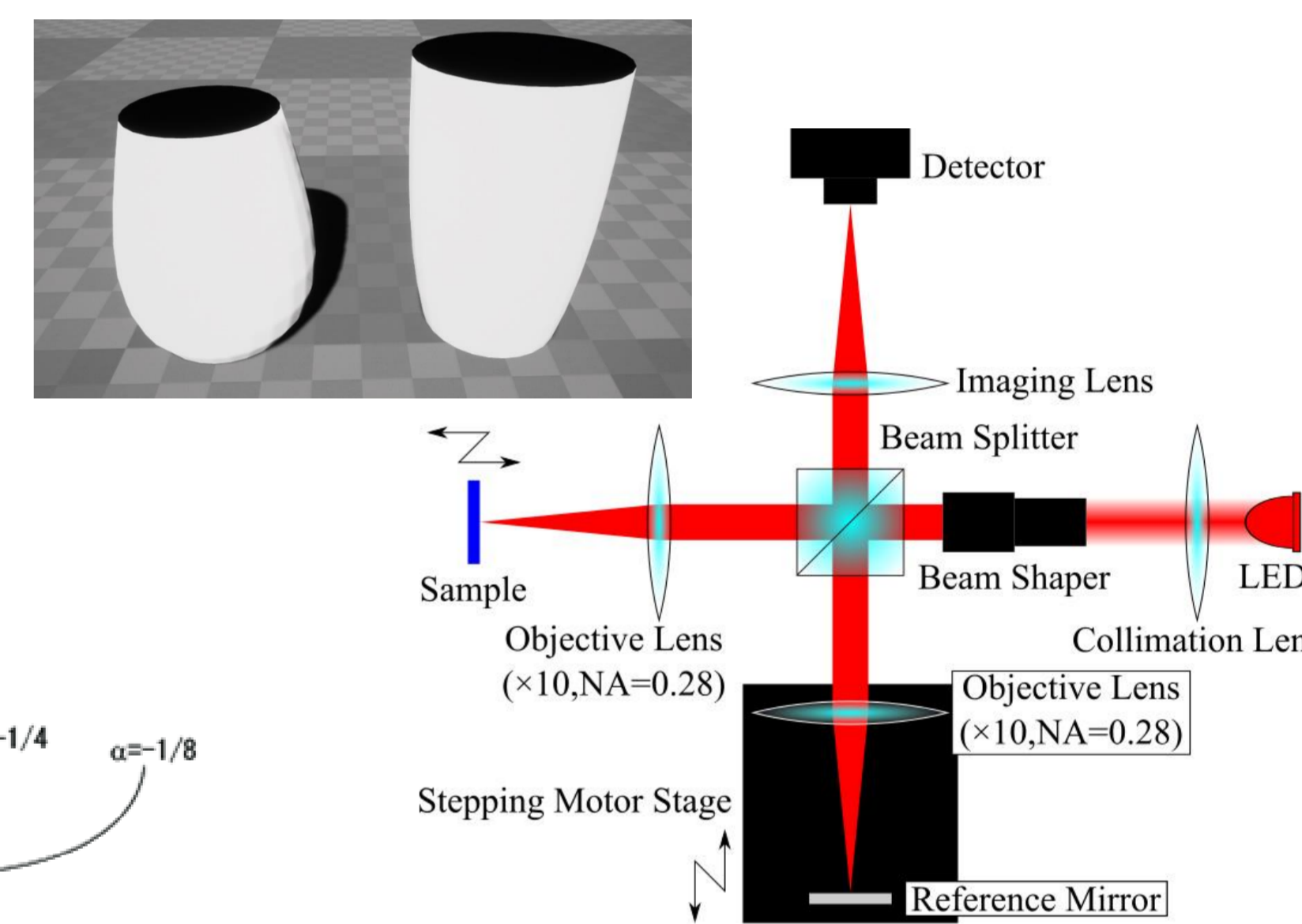
現地の生活を体験し
学外の活動においても
交流を深めた

研究発表会

◆ 静岡大学から6名、マレーシア大学から5名発表

研究発表の主テーマ

- Log-aesthetic curve
- Geometric modeling
- Bezier curve
- OCT microscope



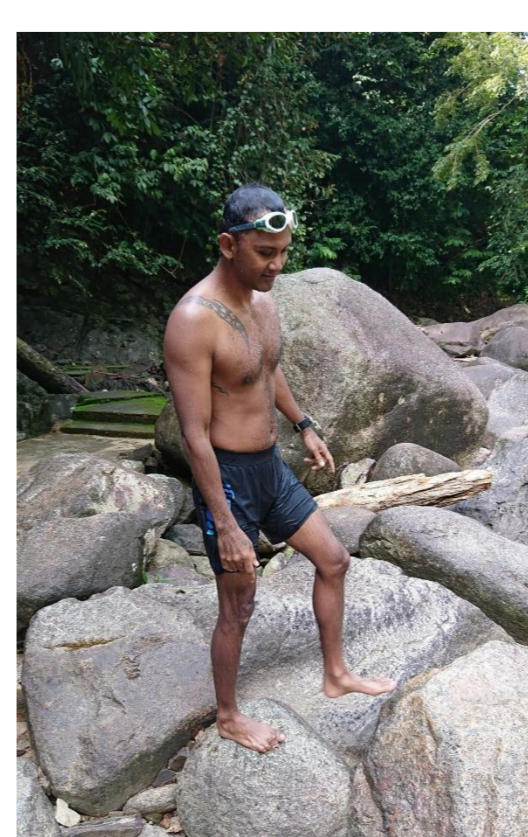
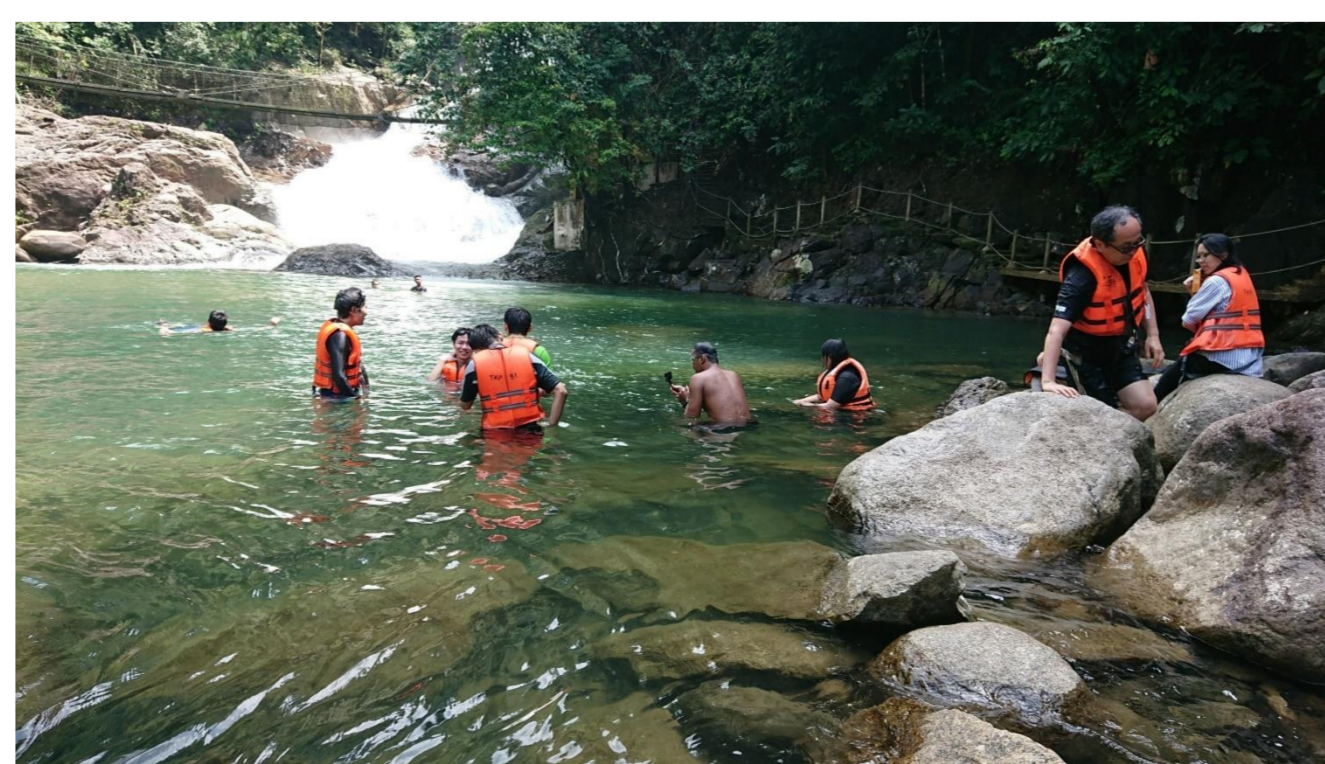
研究発表会の様子

英語での発表および質疑応答をした
原稿頼りの発表になってしまった
原稿なしで話す能力を身につける必要がある

異文化理解, 文化体験

◆ 交流を通して感じたこと、学んだこと

- 拙い英語でも話せば伝わりときが多い
→自分の意見を発信することが重要である
→英語力の低さが浮き彫りになった
- 食事は香辛料が多く使われる
→宗教上食べられるものが限られるためなのか
どこのお店でもメニューがおよそ同じ



英語を聞き取る・話す能力の重要性を理解した
日本との文化の違いを体験することができた